

toto 助成事業報告 スポーツ教室・スポーツ大会等開催（スポーツ）
第22回 ノーマライゼーション水泳フェスティバル
& ユニバーサルスポーツチャレンジ

【目的】

誰にでも楽しめるプログラムを提供することにより障害のある人もない人も共に水に親しみ、楽しみを共有することでノーマライゼーションを図る
 また、ユニバーサルスポーツチャレンジ体験会を行ない、障害の程度に関係なく参加できる場の提供をする

【実施日】 令和元年 10月27日（日曜日）

【募集人数】 プール 200名・アリーナ希望者

【参加人数】 1,735名

（競技・ゲーム・シンクロ・指導協力者・パフォーマンス・ユニバーサルスポーツ・応援者・トゥリトネス・来賓）

【従事者数】 159名

（実行委員 27名・ボランティア 132名）

【会議】 10回 各部門会議は随時

【反省会議】 1回

【計画】 副理事長が主体となり、会員及び一般から募集して実行委員会を組織化し運営に携わる

【決算】

toto 助成金、参加料、水連負担金で精算
 （収入）

toto 助成金	1,352,000 円
参加料	129,000 円(500円×258名)
協賛金	484,466 円
水連負担金	132,064 円
合計	2,097,530 円

（支出）

諸謝金	805,000 円
消耗品	226,720 円
スポーツ用具	575,718 円
印刷製本費	365,800 円
通信運搬費	9,894 円
雑役務費	14,398 円
その他 DVD 制作費	100,000 円
合計	2,097,530 円

【成果】

・ボランティアの協力を得て事故もなく大会を終えることが出来た

【反省】

・プログラム作成にゆとりが持てるように参加者への呼びかけに力を入れていきたい

・各館にチラシを置かせて頂き、その補充を随時行なうべきだった

・各館の障害者専用コーススタッフに協力を得て、参加者への呼びかけとボランティアとして協力を得られるようにしていきたい

【次年度への引き継ぎ事項】

・従事者の役割分担を早期に決め、滞りなく運営できるようにしていきたい

・新規参加者を増やせるように声掛けを行なっていきたい



toto 助成事業報告 スポーツ指導者の養成・活用（スポーツ）

対象別ウォーターエクササイズ地域指導者養成講座

【ねらい】

指導者の養成と、その充実を図り区民の生涯スポーツとしての水泳の普及と発展に努め、水の事故防止に寄与するため、指導者としての資質・技能の向上と多くの指導者の輩出を図る

【実施日】 地域指導者養成講座

第Ⅰ弾；初級障がい者スポーツ指導員養成講習会

R.1年 12/1 12/13 12/15 12/21

第Ⅱ弾；水泳指導者養成編 R.2年

1/17 1/27 2/13 2/26 3/5 3/8 4/9 4/23

【募集人数】 地域指導者養成講座 各期 20名

【参加人数】 25名（第Ⅰ弾 15名、第Ⅱ弾 10名）

【従事者数】 各講座講師他水連指導員 20名

【会議】 10回

【決算】 toto 助成金、参加料、水連負担金で精算

（収入）toto 助成金	750,000 円
参加料	50,000 円
水連負担金	311,433 円
合計	1,111,433 円

【反省会議】 5回

【計画】 プロジェクト委員を募り運営に携わる

【成果】 サポート方法を楽しく学べ、無料で充実した講習を受ける事が出来たと喜ばれた

【反省】 ・各館にチラシを置かせて頂き、その補充を随時行なうべきだった

・従事者の役割分担を決めていたので、スムーズ運営できたが備品の確認は事前しておく必要があった

【次年度への引き継ぎ事項】

・新規参加者を増やせるように声掛けを行なっていきたい

・従事者の役割分担を早期に決め、滞りなく運営できるようにしていきたい

（支出）諸謝金	525,000 円
借料及び損料	59,600 円
消耗品	96,021 円
スポーツ用具費	300,980 円
通信運搬費	9,272 円
雑役務費	120,560 円
合計	1,111,433 円



泳力検定会

【目標】

水泳の普及と水泳愛好者への目標提供

【実施日】

第 23 回 令和元年 9 月 22 日（日曜日）

【場所】 大泉学園町体育館温水プール

【参加人数】 103 名

【成果】

・第 24 回を令和 2 年 3 月 15 日（日）に開催を予定していたが、新型コロナウイルス【COVID - 19】感染拡大防止並びに練馬区の見解を受け、令和 2 年 5 月 17 日（日）に変更して行なう予定であったが、その後、政府の非常事態宣言が発

表され、練馬区の区立体育館の利用が全面閉鎖となった為、延期した。

・検定会の協力者が定着してきた

・リピーターが増え、練馬区外からの参加者も多くなってきた

【反省】

・各館に要項を置かせて頂いたが、その補充を随時行なうべきだった

・会場内の導線の把握が足りなかった為、事前打ち合わせをしっかりと行なう必要があった